

「道德」と呼ばなくても今や道德は教育課程の基盤の一つ
となっている！ 荒木寿友先生（立命館大学大学院教職研究科教授）

溝上 慎一 Shinichi Mizokami, Ph.D.

学校法人桐蔭学園 理事長
桐蔭横浜大学 教授

<https://smizok.com/>
E-mail mizokami@toin.ac.jp

【プロフィール】1970年生まれ。大阪府立茨木高校卒業。神戸大学教育学部卒業、1996年京都大学助手、講師、准教授、2014年教授を経て2018年に桐蔭学園へ。桐蔭横浜大学学長（2020-2021年）。京都大学博士（教育学）。
*詳しくはスライド最後をご覧ください

※本動画チャンネルは溝上が個人的に作成・提供するものです。

※公益財団法人電通育英会の研究委託を受けて行われています。

※本動画では字幕を付けていませんので、必要な方は「設定」で「字幕オン」にしてご利用ください。

それではご覧ください

道徳のコンピテンシーと ウェルビーイング

立命館大学 教職大学院

荒木寿友

よろしくお願いします

荒木寿友（あらかいかずとも） 博士（教育学）
立命館大学教職大学院

日本道德教育学会常任理事 日本道德性発達実践学会事務局長
光村図書出版道德教科書編集委員

セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン アドバイザー

専門：教育方法学 道德教育 ワークショップ 国際教育

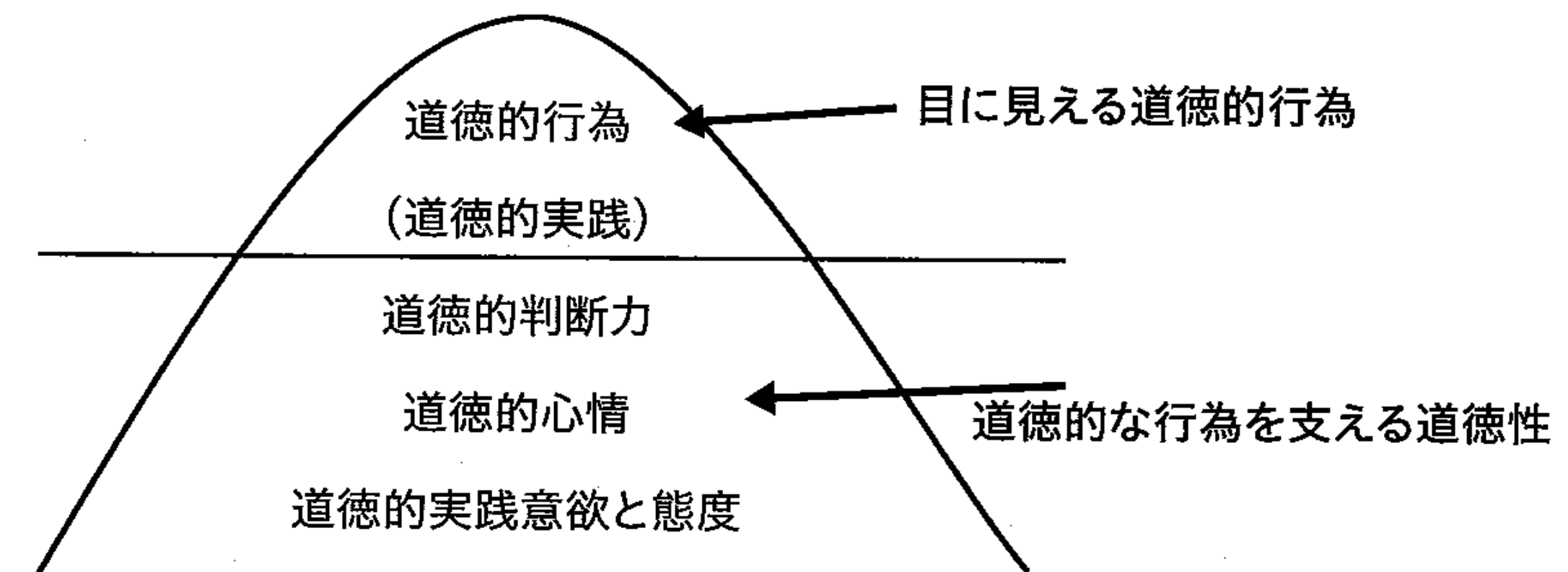
話の前提として

- 道德教育の目的

自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として
他者と共によりよく生きるための基盤となる道德性を養う

- 道德性とは

人間としてよりよく生きようとする人格
的特性 道德的判断力、道德的心情、道
德的実践意欲及び態度を諸様相とする**内
面的資質**



赤堀博行監修 (2016)

『これからの道德教育と『道德科』の展望』より

いずれも学習指導要領および解説より引用

コンテンツとコンピテンシー
どのように捉えるか？

コンピテンシー（資質・能力）とは

- ・ もともとは職能や人生における成功を表す言葉
- ・ 社会的スキルや動機、人格特性など
- ・ 「何を知っているか」だけでなく、「何ができるか」「どう生きていくのか」を含むもの
→能力の捉え方が、「知識の蓄え型」から、「知識をいかに用いてい
てどう生きるのか」へとシフト
- ・ コンピテンシーにはコンテンツも含まれる

道徳科におけるコンテンツ
価値と価値観
コンテンツベースの限界

コンピテンシーベースの道德の可能性

「よりよく生きる」というダイナミズムを
どう教育に落とし込むか？

